

## ◎台風19号災害に係る農地・農業用施設の被害状況

台風19号により被災された地域住民の方々及び関係者の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。今回の台風による被害は、近年例にない程甚大なものとなり、北部管内各地にも大きな爪痕を残していきました。

当事務所におきましても大崎市及び鶴田川沿岸土地改良区の被害調査支援として、防災重点ため池調査や鹿島台方面の被害調査を行っています。

また、10月16日(水)に村井知事が矢ノ目排水機場・志田谷地地区を視察しており、10月24日(木)には佐藤農政部長が矢野目排水機場・明神堰を、11月22日(金)には遠藤副知事が志田谷地地区の現地視察を行いました。

北部管内の農地・農業用施設に係る被害状況は表のとおり576箇所、約57億円となっており、災害査定申請件数は72箇所（うち県営災害復旧施設が21箇所）を予定しています。1日も早く復旧するよう、引き続き業務に努めて参ります。



▲冠水状況（鹿島台志田谷地付近）



▲新湊花揚水機場付近  
（フェンスが倒壊し稲わらが堆積しています。）



▲現地視察を行う村井知事（10/16 志田谷地地区）



▲現地視察を行う遠藤副知事（11/22 志田谷地地区）

## 北部管内における農地・農業用施設被害状況



▲当部職員による被災状況調査の状況

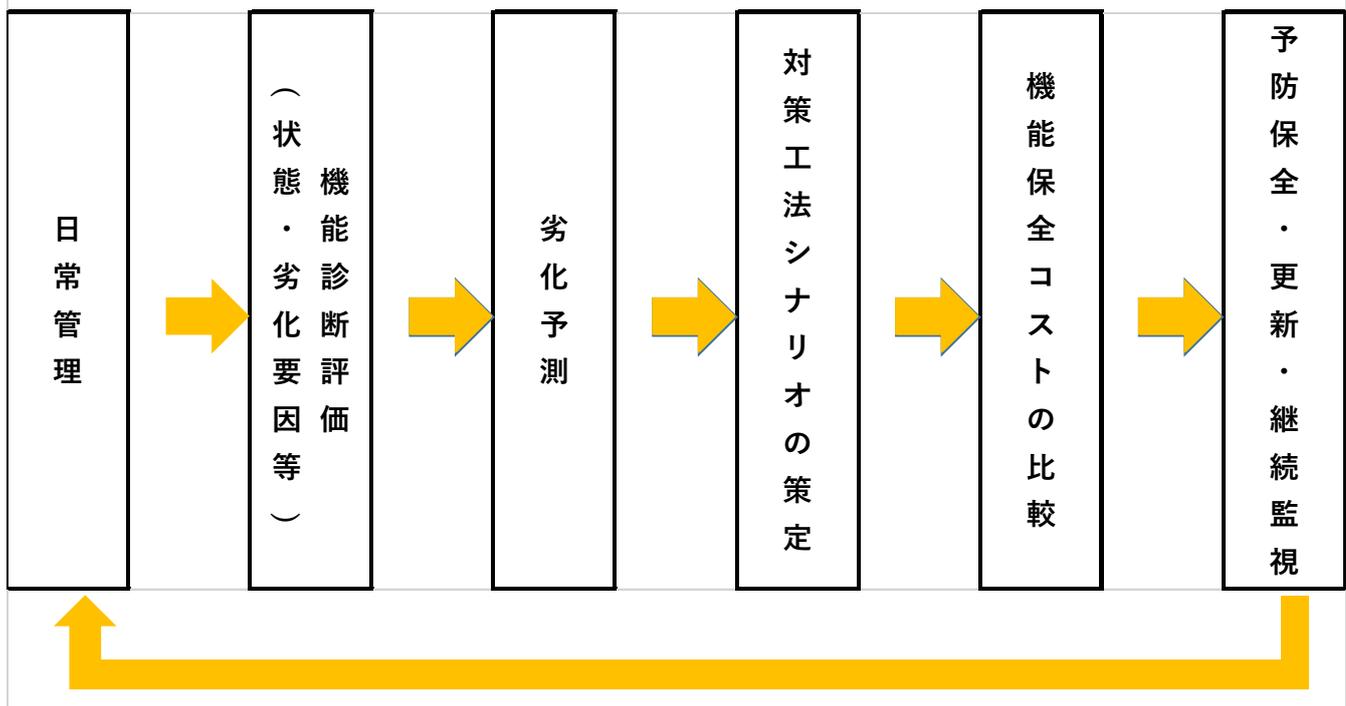
| 市町  | 被害件数<br>(箇所) | 被害額<br>(千円) |
|-----|--------------|-------------|
| 大崎市 | 441          | 3,113,210   |
| 加美町 | 81           | 1,389,960   |
| 色麻町 | 9            | 659,300     |
| 涌谷町 | 32           | 326,450     |
| 美里町 | 13           | 221,050     |
| 計   | 576          | 5,709,970   |

※農地(田), 農地(畑), 道路, 水路, 揚水機(用), 揚水機(排), ため池, 頭首工及び農集排施設の被害を計上しています。

## ◎農業水利施設ストックマネジメント北部地方推進会議を開催しました

令和元年9月27日(金), 大崎合同庁舎にて「農業水利施設ストックマネジメント北部地方推進会議」を開催しました。近年, 施設の経年劣化や局部的な劣化を主な原因とする, 農業水利施設の突発事故が増加しています。加えて施設のライフサイクルコスト低減への取組みがより重要となっています。そうした状況を踏まえ, 施設の日常点検や管理の重要性を今一度確認すると同時に, 定期的な機能診断及び評価に関することやインフラ長寿命化計画・個別施設計画の策定について大崎管内の各市・町・改良区に対して説明及び依頼をしました。

### ストックマネジメントの実施サイクル



## ◎加美町石母田地区で農業支援ボランティア活動が実施されました

令和元年10月5日(土), 加美町石母田地区において, 農業支援ボランティア活動が実施されました。当日の天候は晴れ。気温も20度で格好のボランティア日和となりました。

当事業は都市住民と中山間協定の皆さまとの相互交流を図るものであり, 中山間地域の農家の方々がホストとなり, 都市住民が農作業の支援ボランティアを行いました。当日午前中は稲刈り作業のボランティアを行い, 昼食は, 「宮崎どどんこ館」にて餅御前をいただきました。午後からは地域の用水施設である蟬堰等も見学し, 有意義な1日となりました。

農業支援ボランティア活動は来年も実施する予定ですので, より多くの方々のご参加をお待ちしています。

参加者及び関係者の皆さま, 1日大変お疲れさまでした。



▲餅御前



▲集合写真

## ◎宮崎小学校6年生が稲刈り体験を行いました



令和元年10月17日(木), 宮崎小学校の小学6年生17名の児童の皆さんが「めだかの学校びおとーぶ」で稲刈り体験学習会に参加しました。台風の影響により2回延期されましたが, 3回目でやっと実現しました。この稲刈り体験は平成18年度から毎年開催しています。

今回の学習会では, ふるさと水と土指導員の渡邊指導員から原始時代の石器による稲刈りと予祝儀礼「収穫感謝祭」のお話をいただいた後に, 収穫作業に取り組みました。5月に田植えをした稲をこの日に収穫できるということで皆さん楽しく稲刈りに取り組みました。また稲刈りの他にも, 架(は)せ掛けという天日干しを全員で行いました。

校長先生のちょっとしたいい話

「海と山は繋がっています。水という物質を通じて繋がっています。水が稲を育み, 水が木を育てています。その水が海に戻り, 雲になって, 雨雲となって, 再び山に雨を降らせます。全てが繋がっています。人間もそうです。」

児童の皆さんに優しく語っていました。

## ◎ミャンマーの技術職員が大崎管内に来訪しました

令和元年9月25日、農業水利施設の維持管理に関する技術交流の一環で、ミャンマーの農業畜産灌漑省職員が大崎管内を訪れました。

水利施設等保全高度化事業大貫地区により整備した大貫揚排水機場において、ポンプをはじめとした設備の機能診断、整備・更新状況について当部及び旧迫川右岸土地改良区の職員から説明を受け、施設の維持管理方法に強い関心を示していました。

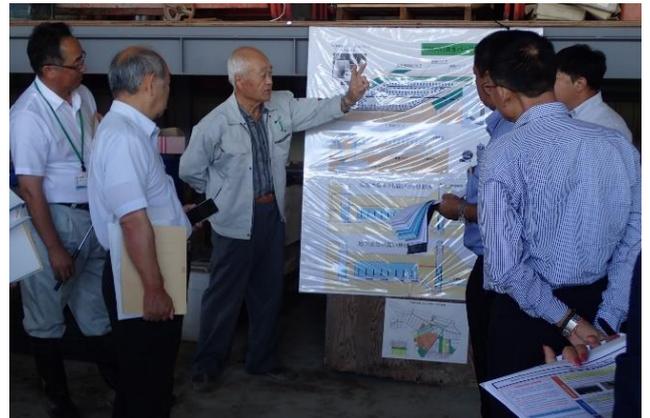
次に県営ほ場整備事業青生地区を視察し、美里東部土地改良区及び農事組合法人みらいす青生から、営農に関する説明を受けました。同法人では、効率よく作物を栽培するために地下水位制御システム(FOEAS)を導入しており、先進的な灌漑システムの仕組みに研修員は大変感銘を受けていました。

今後も宮城県では、農業農村整備の技術交流を積極的に図ってまいります。

農事組合法人みらいす青生の営農取組の説明▶



▲大貫揚排水機場にて説明を受ける様子



## ◎青木川地区権利者会議を催しました

大崎管内における今年度初の権利者会議「県営土地改良事業青木川地区権利者会議」を美里町農村環境改善センターにて、令和元年12月4日(水)に開催しました。権利者の方々には、外気温が1度と非常に寒いなか、午前9時30分と朝早くから集まっていただきました。

当日は当所の小野所長の挨拶に続き、相澤美里町長、亀山石巻市長(代理・河南総合支所長)の2名から来賓として祝辞をいただき、大番所集落・新田様の議長のもと議事を進め、無事、出席者(書面議決含む)全員の賛成により換地計画案は可決されました。加えて最後には、権利者を代表して換地委員から感謝の言葉まで頂きました。



▲挨拶を述べる小野地方振興事務所長

### 宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集:北部PRWG